

UDの7つの視点を取り入れた授業づくりで 研究や研修を進めてみましょう

みんながわかる!
UDの授業で
みんなができる!

小学校、中学校、高等学校における、本ハンドブックの活用の仕方をご紹介します。
学級、学年、教科、学校の実態に合わせ、授業づくりの基礎・基本を確認しながら、
配慮を要する児童生徒はもちろん、学級全体の学びの向上を目指してみませんか。



学級担任・教科担任によるUDの授業づくり

授業に対する課題意識



- 最後まで集中力が続かない
- 学力の差、意欲にも差がある
- 一部の児童生徒だけで授業が進みがちだ
- もっと一人一人の考えを引き出したい



こうした教師の思いを授業改善に反映させるために

UDの視点を取り入れた授業づくり その1

本ハンドブック(裏表紙)の「UDの7つの視点一覧表」を活用して、日頃の授業を振り返ります。児童生徒の実態、教科の特性、指導場面などに合わせて、授業改善に必要なと思われる視点及び項目を選択し、できるところから「UDの視点による手立て」についてアイデアを練ります。

UDの7つの視点一覧表

(例) UDの視点6「板書、ノートやファイル」③を参考に、板書の大事なところがわかる視覚的な提示の工夫を考える場合
→「生徒から出された意見を黄色で書き、強調して見せる。」など

学年担任同士・教科担任同士によるUDの授業づくり

UDの視点を取り入れた授業づくり その2

その1の取組みについて、情報交換を行い、校内における共通理解を図ります。

UDの視点を取り入れた授業づくり その3

その1の「UDの視点による手立て」を授業公開シートに盛り込み、お互いの授業を参観します。
指導案を作成しない形で、気軽な「ミニ授業研」の実施ができます。

授業公開シート

期日・学級	平成 年 月 日 () 校時	2年 A組
授業者	○ ○ ○ ○	
教科・単元名	数学 「平行と合同」	
項目	授業者記入欄	参観者(感想・意見)記入欄
本時の目標	<input type="checkbox"/> 多角形の1つの外角を、内角の和の性質をもとに求めることを通して課題に気づかせる。 <input type="checkbox"/> 多角形の外角の和が、頂点の数にかかわらず、常に 360° であることを導かせる。 <input type="checkbox"/> 多角形の外角の性質を使って問題を解決できるようにする。	
UDの視点による手立て①	<input type="checkbox"/> 1時間の学習の流れを掲示する。	
学習の見過しの工夫		
UDの視点による手立て②	<input type="checkbox"/> 既習事項をカードにし、黒板に貼る。 <input type="checkbox"/> OHPを使い、ワークシート等を拡大提示する。 <input type="checkbox"/> 生徒から出された意見を黄色で書き、強調して見せる。	
UDの視点による手立て③	<input type="checkbox"/> ワークシートの構造化(作図や計算がしやすい紙面)を図る。 <input type="checkbox"/> 裏表の練習問題プリントを配付する。	
学習プリントの工夫		
個別への配慮	<input type="checkbox"/> 個に応じた言葉がけ	
その他		

UDの視点による手立て



教科担任同士の打合せの様子



実践前

Plan (計画)

授業に対する課題意識

UDの視点を取り入れた授業づくり その4

指導案より 本時の指導 (抜粋)

分	学習活動	主な発問 (◇) と指示 (◆)	指導上の留意点 (・)
2	1. 既習事項 する。	角度代わりの道具①～③を確認しましょう。	UDの視点による手立て (★) 評価(□) ・既習事項を確認する。
13	2. 課題をつ 既習事項 で問題を解 く。	これらを使ってQの問題を解いてみましょう。制限 時間は3分です。 ④分間取り組んだ感想を吹き出しに書きましょう。 ⑤「どんな感想が浮かびましたか?」	・ワークシートの問題を配付する。 ・「3分では無理」などの声を出させたい。 ★隣同士のペアで、問題の答えを交流する。 (UDの視点IV「授業の構成」⑥より)
	外角の求 め方を 知る。	求め方を発表してもらいます。(OHPを使って) 「図のような角を、内角に対して外角と言います。 α、βは外角です。」	★OHPを使い、ワークシート等を拡大機 示しながら話し合う。(UDの視点VI「教 材・教具①」より) ・「嬉しい」「面白い」等の声を出させたい。
	課題 どう やって調べ る?	このような外角の求め方はどうでしたか? ⑥「図形の外角を手際よく求めることができるだろう。」	
10	3. 多角形の ついで調べ る。	⑦「多角形の外角の和は360度です。」	

UDの視点による手立て

授業改善のテーマの設定
(学級、学年、教科、学校)

その1で導いた「UDの視点による手立て」
を明記した指導案を用意します。

- ・「UDの7つの視点一覧表」(裏表紙)から、授業改善に必要と思われる視点及び項目を選択する。
- ・視点及び項目にそって具体的な工夫や配慮を考え、指導案(指導観・本時の指導)に盛り込む。
- ・1時間のどの場面で、どんな支援や配慮を行うのかわかるようにする。
- ・校内研究の視点がある場合には、「UDの視点による手立て」との関連を考えながら表記する。

(例)UDの視点4「授業の構成」⑥を参考に、ペア学習などの学習の形態の工夫を考える場合
→「隣同士のペアで、問題の答えを交流する。」など

事前研

UDの視点を取り入れた授業づくり その5

ワークショップ型の指導案検討で、授業づくりの意見やアイデアを出し合います。

※KJ法による付箋紙を活用した話し合いが効果的です。
詳細は、県教育センターHPの授業研究ハンドブックを参照ください。



授業当日

Do (実施)

UDの視点を取り入れた授業づくり その6

授業公開シート(※その3を参照)を活用して、参観者の感想や意見を収集します。

※事前・事後研究会の配付資料とするだけでなく、話し合いに参加できない教員の意見を収集できます。

事後研

Check (評価)

UDの視点を取り入れた授業づくり その7

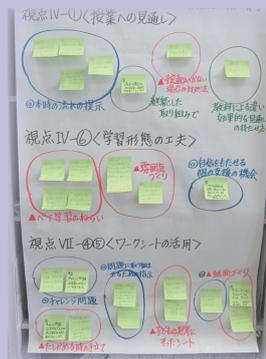


配慮を要する児童生徒が積極的に発言するようになり、学級全体の学びにも深まりが見られた。
(40代女性教諭)

UDが中・高の「教科の壁」を越えた話し合いを可能に!
(30代男性教諭)

異教科の教員からの意見は、生徒の感覚に近く、自分の教科指導を見直す機会になった。(50代男性教諭)

ワークショップ型授業研究で、教員同士の協働性を高め、校内研究の活性化を図ります。



- ・指導案や授業公開シートの「UDの視点による手立て」にそって、話し合いの視点を明確にする。
- ・校内研究の視点がある場合には、「UDの視点による手立て」との関連を考えながら協議する。

実践後

Action (改善)

UDの視点を取り入れた授業づくり その8

次の授業づくりの計画に、授業実践で得られた成果と課題を活かします。

お知らせ

県教育センターHPから本ハンドブックとともに、H24報告書を閲覧することができます。研究協力校の授業実践なども紹介しています。

その1 ~ その8 以外にも、学級、学年、教科、学校のニーズに合わせて、取り入れ方を工夫してみましょう。



ユニバーサルデザイン(UD)の7つの視点一覧表

小・中・高 共通

複写可 本ページをコピーして、日常・単元・本時における学級づくりや授業づくりについて振り返ってみましょう。

学級づくり	1 教室環境	日常	単元	本時
	■学級担任			
	① 教室の整理整頓の仕方を決めて指導している。(学級のもの・個人のもの)			
	② 児童生徒の実態に合わせた座席の位置を決めて指導している。			
	③ 学習時の視覚刺激の量に配慮している。(前面の黒板とその周囲、壁面の掲示物の精選など)			
	④ 一週間や一日の予定などのスケジュールを見やすく掲示して指導している。			
	⑤ 急な連絡や予定の変更は、視覚的にわかりやすく伝えている。			
	■教科担任			
	② 児童生徒の実態に合わせた座席の位置を決めて指導している。			
	③ 学習時の視覚刺激の量に配慮している。(前面の黒板とその周囲、壁面の掲示物の精選など)			
	2 学習や生活のきまり	日常	単元	本時
	■学級担任			
	① 学習活動のきまりをわかりやすく定めて指導している。〔「聞くこと」、「話すこと」、「書くこと」など〕			
	② 学級生活のきまりをわかりやすく定めて指導している。(時間のきまり、清掃や昼食時のきまりなど)			
	③ ①②について、児童生徒の実態を振り返り、必要に応じて見直しを図りながら指導している。			
■教科担任				
④ 担当教科の学習活動のきまりは、学級・学年・学校のきまりを踏まえて、わかりやすく定めて指導している。				
3 関係づくり	日常	単元	本時	
■学級担任				
① 児童生徒の理解、児童生徒同士の関係の把握のために、観察・記録を大切にしている。				
② 児童生徒同士が学級のことや友だちのことについて話し合える場をつくるなど、かかわり合える工夫をしている。				
③ 時・場・相手などに応じたコミュニケーションの仕方について指導している。				
④ 児童生徒の問題やトラブルについて、本人又は保護者との相談を通し、その望ましい在り方を指導している。				
■教科担任				
⑤ 教科のねらいを達成するために、学級ごとの特性を把握して指導している。				
授業づくり	4 授業の構成	日常	単元	本時
	■学級担任 ■教科担任 共通			
	① 単元や本時の初めに、学習の流れを提示し、見通しを持って取り組めるようにしている。			
	② 教科書、ノートやファイル、学習用具の準備について指導している。			
	③ 導入では、興味・関心を高め、動機づけを図る工夫をしている。			
	④ わかりやすく主体的に取り組めるような課題設定を行い、自力解決のための思考の手がかりを持たせている。			
	⑤ 展開では、主体的な学びを保障するための学習活動の時間配分を工夫している。			
	⑥ ペア学習、グループ学習、一斉学習など、ねらいに応じて様々な学習の形態を工夫している。			
	⑦ 集中力を高めたり気分を切り替えたりする活動を取り入れるなどの工夫をしている。			
	⑧ まとめでは、「わかった」、「できた」という満足感・達成感を実感できる活動を工夫している。			
	5 教師の話し方、発問や指示	日常	単元	本時
	■学級担任 ■教科担任 共通			
	① 児童生徒の頑張りを認め、肯定的な表現で話しかけている。			
	② 話し始める前に、興味を引く工夫をしている。(タイミング、立つ位置、前置きなど)			
	③ 全体への発問や指示、個別の声がけや確認などの支援の仕方を工夫している。			
	④ 児童生徒にわかりやすい発問や指示になるように工夫している。			
	6 板書、ノートやファイル	日常	単元	本時
	■学級担任 ■教科担任 共通			
	① 授業の流れや内容がわかるように板書の構成を工夫している。			
	② 教室の後ろの児童生徒からも見えるような文字の大きさ、行間にしている。			
	③ 大事なところがわかるように工夫して示している。(チョークの色、ラインや囲み、矢印や記号、掲示物の活用など)			
④ ノートに取りやすい板書の仕方を工夫している。(スピード、タイミング、間など)				
⑤ ノートの取り方やファイルの整理の仕方を指導している。				
7 教材・教具	日常	単元	本時	
■学級担任 ■教科担任 共通				
① 提示する内容をよりわかりやすくするための教材・教具を工夫している。(具体物・写真・絵・動画、ICT(視聴覚)機器など)				
② 児童生徒の発達段階に応じて、材料、道具、用具を準備して活用している。				
③ 学習で使うプリントやワークシートは、読みやすく書きやすいように工夫している。				
④ 児童生徒の実態に合わせた対応ができるような教材を準備している。(基礎や応用、発展など)				

授業改善への活用の仕方については、前ページのUDの7つの視点を取り入れた授業づくり(その1)～(その8)を参照ください。

山形県教育センター

